

芸術祭が始まる

東京藝術大学美術学部絵画科准教授
アーツ前橋チーフキュレーター

みやもと 武典
たけのり

⑬「わたし、美大に行きたい」

美大の教員を20年もしている「美術大学でアートやデザインを学びたかったけど、それを言い出せる家庭環境ではなかった」という話を、学生から聞くことがあります。東京藝大に着任する前は私立美大で教えていたので、そうした話には多くの場合、経済的な事情がありましたし、また地方の場合は「うちの子は手元に置いておきたい」と考える親御さんも少なからずいます（私もそれを望む父親の一人です）。

しかし国立で学費が安く、この分野でトップ校であるはずの東京藝大でも同じ悩みを聞くことがしばしばあります。ある女子学生は、小さな頃から美大に憧れていましたが、親御さんの理解を得られず、関西の名門私大で経済を学びました。卒業後に上京、大手会計事務所働きながら美大予備校の夜間部に通い、基礎からデッサン力を磨いて東京藝大に合格しました。

並大抵の努力では



▲GMUと東京藝大の連携は令和7年度から始まっています。昨年のプログラムに参加し、織姫伝説をテーマに制作したGMU生の作品。

なかったと思います。地元を離れて暮らし、必死で学費を貯め、「ほんとうの自分」が希望していた学びの扉を自力で開く。そんな遠回りをしてやっと東京藝大に入ってくる若者たちがいます。美大教員としていつも彼女たちと申し訳なく思います。専門家として、教育者としての学びが、お子さんに安定的な人生を歩ませたいと望む、親御さんの信頼を勝ち得ていかなければと思うのです。私たち東京藝大がこの秋に有鄰館で開催するアートフェスティバル「桐生AIR」では、

上野で学ぶ藝大生だけでなく、ぐんま未来大学(GMU)の先生方とも連携し、地元の桐生・みどり地域の若者たちにも作品を制作・出展してもらいます。先日、GMU生を重要伝統的建造物群保存地区に案内しました。彼・彼女たちのワクワクした表情は、桐生で育った私の娘たちの姿と重なり、藝大生への想いとは別の、いい感じの感情が湧き上がってきます。教師としての顔、父親としての顔、専門家としての顔……さまざまな顔が交差する、私にとっての「桐生AIR」です。

パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで(申し込み時)の桐生っ子を募集します。

■右の二次元コードから電子申請でお申し込みください。



☎魅力発信課(☎46 - 1049)



ひらの かえで
平野 楓 ちゃん
8か月



なかざと ゆうり
中里 佑織 ちゃん
1歳1か月



ゆり りょうま
由利 竜馬 ちゃん
1歳6か月



かきうち さな
垣内 咲七 ちゃん
3歳1か月

南公園星空観察会 参加者募集

先生の解説を聞きながら
星空観察を楽しみませんか。



期 9月19日(土)※雨天中止

時 午後7時～8時30分(午後6時50分から南公園管理棟前にて受け付け)

場 南公園

対 市内在住の人※中学生以下は保護者の同伴が必要

定 20人(先着順)

持 懐中電灯(安全確認で足元を照らすため)

申・問 9月18日(金)までに電話で南公園管理事務所(☎52 - 3456)へ。